

24年 25年
6月～3月



「水・地域・絆」を大切に
するまちづくり

木村正孝市議 議会報告



事務所 〒611-0026
宇治市開町25-2
電話&Fax 43-0166
議会事務局 電話 20-8747

議員2年目の今年は、昨年の「災害に強いまちづくりー自己水（地下水源）の保全と活用」の取組みを一步すすめ、耐震化や非常用自家発電機の設定、危機管理体制の強化などに取組みました。特に、昨年8月の府南部豪雨災害を踏まえ、9月議会では、地域防災計画と今次災害対応について取り上げ、計画を踏まえた行動が実際にとれたのかどうか、緊急時の市長のリーダーシップのあり方や危機管理体制の検証、断水地域への給水対応等について質問と提案を行いました。その結果、本年4月から（危機管理室）（危機管理監）の新設が決まりました。また通学路の安全対策やいじめ防止、観光振興計画など緊急性が求められる課題にも取り組みました。

〈一般質問と主な答弁〉

〈平成24年6月議会〉

- ① 災害に強いまちづくり
浄水場の耐震化計画／浄水場の自家発電設備の必要性／災害時の応急給水体制と設備
- ② 宇治市観光振興計画
計画策定の意義と目的／計画と茶業振興／計画策定への事業者や住民の参加
- ③ 自家発電設備の設置を検討する
観光振興計画策定への住民参加の方法は検討課題

〈平成24年9月議会〉

- ① 災害に強いまちづくり
地域防災計画と今次災害対応
ハザードマップは活かされたのか／緊急時の市長のリーダーシップ／危機管理体制強化と危機管理監の設置を断水の実態と給水体制
- ② 「いじめ防止条例」制定を現状の小中学校における防止対策
- ③ 「危機管理監」の役割や必要性について検討する。

〈平成24年12月議会〉

- ① 新市長の基本姿勢
市政運営の基本理念／二元代表制における市長と議会の関係性
- ② 基本的政策
府南部地域豪雨災害に係る復旧・復興と財源／中長期ビジョンと行財政改革／人材育成と専門職の配置の必要性
- ③ 災害に強いまちづくり
自己水（地下水源）の保全・活用と水道ビジョン／開浄水場のポンプ交換問題
- ④ 「市民の力の結集で、新しい宇治市を」が市政運営の基本理念
専門職の配置、市職員OBの活用についても検討をすすめる

〈平成25年3月議会〉

- ① 新公会計制度導入の目的と効果
- ② 公共施設の老朽化、耐震化計画と公会計制度
- ③ 開浄水場問題 解決へむけた上下水道部の対応
- ④ 橋りょう等の長寿命化計画を策定
- ⑤ 公共施設整備長期計画策定に新公会計制度の活用も検討する

私はこの2年間「危機管理監」設置の重要性を訴え続けてきました。市当局は、昨年の府南部豪雨災害を踏まえ、本年4月から「危機管理室」「危機管理監」を新設することを決定しました。

〈Strong In The Rain〉

詩人・童話作家-宮沢賢治の「雨ニモマケズ」が、いま、東日本大震災の被災者を励ましているそうです。Strong In The Rainと翻訳し宮沢賢治を世界に紹介したロジャー・パルバースは「賢治から、あなたへ 世界のすべてはつながっている」*の中で次のように述べています。「いまこそ、私たちは宮沢賢治を読み直し、新たな視点から賢治の作品と思考を捉えなければなりません・・・略・・・賢治は、次のようなメッセージも投げかけています。「わたし」や「あなた」が、今ここにいることこそが大切なのだ、と・・・略・・・。わたしやあなたは、気の遠くなるような過去と未来のまさに接点として、いまここに生きて、存在しているのです。」

*株式会社集英社インターナショナル ロジャー・パルバース著 森本奈理訳 2013.2.28



ゲリラ豪雨対策ー側溝を新設
緊急措置で設備されたこの側溝により、昨年夏の府南部豪雨災害時の大雨でも威力を発揮、住宅浸水を防止しました。（宇治市開町）

水源多様化で気候変動に対応を

ー水資源白書

2011年版「水資源白書（国土交通省）」は気候変動の影響で水需給バランスが不安定になる可能性があるとして、地下水や雨水、再生水などの水源の多様化を図ること、節水の取り組みも重要なことを指摘しています。

〈全国的にすすむ井戸／地下水利用〉

3・11東日本大震災の経験から、前にも増して地下水源／井戸の重要性が見直され新たに井戸の掘削、地下水利用がすすめられています。避難施設になる小学校に井戸を設置したり、東京消防庁は直下型自身に弱い現在の消火栓にかえて、井戸を活用した消火栓の整備を始めています。

開浄水場休止問題解決へ 一歩前へ！

平成18年12月に水道部が休止方針を提案して以来、足かけ7年が経過。東日本大震災を踏まえ全国的に地下水利用が進められている現在、当時とは状況が大きく変化しているなか、住民の「権利のための闘争」は、いよいよ上下水道部との話し合い解決へ踏みだしました。

住民側、市に協議申し入れ

宇治・開浄水場休止問題

解決へ「あらゆる可能性検討する」 前向き

宇治の開浄水場（神門）は20日、市下町をめぐって「水道部が休止方針を提案し、住民側がこれを拒否し、話し合いによる解決を求める」として、市議会に協議申し入れを行った。市側は「あらゆる可能性を検討する」として、協議を進める意向を示した。市側は「あらゆる可能性を検討する」として、協議を進める意向を示した。市側は「あらゆる可能性を検討する」として、協議を進める意向を示した。